

# 第61次 技術教育・家庭科教育全国研究大会

主催：産業教育研究連盟 後援：大東文化大学・東京都教育委員会(申請中)

<http://www.sankyoren.com>

大会テーマ 「巧みな手、科学する頭、人と人を結ぶ心を育む技術教育・家庭科教育」

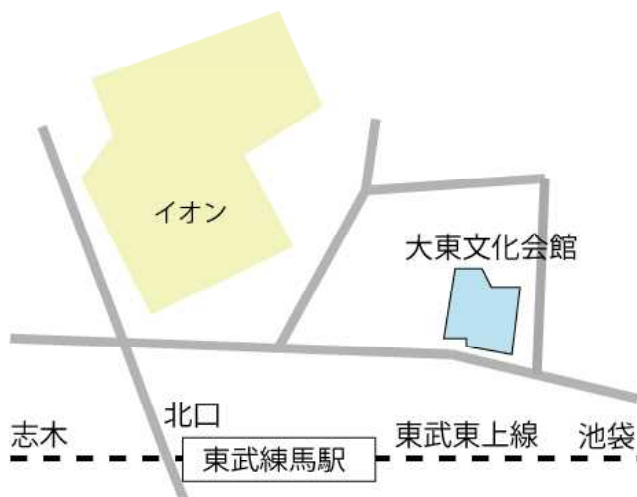
## 研究の柱

- 1、今の技術教育・家庭科教育の問題点について情報交換し、今後どのように進めていくべきかを幅広い立場から検討します。
- 2、新学習指導要領の内容を実践的に検討しながら、教科のなかで子どもに真につけさせたい力を探ります。
- 3、子どもをひきつける教材についてさまざまな角度から検討し、魅力ある授業の内容と方法を探ります。

会場 大東文化大学 大東文化会館  
東武東上線・東武練馬駅下車徒歩3分  
池袋駅より各駅停車で15分

\* 急行などは停車しません。

〒175-0083 東京都板橋区  
徳丸2丁目4番21号  
TEL：03-5399-7038 / Fax:03-5399-7857



日程 2012年8月4日(土)、5日(日)、6日(月)

日時	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
8/4(土)	受付	「授業をつくる」分科会 ①②			昼食	全体会	講演	教材教具発表会	連盟総会		
8/5(日)	受付	「授業をつくる分科会」 ③④			昼食	実技コーナー「匠塾」				夕食交流会 ～ 19:30	
8/6(月)		教科教育・教育課程を考える討論会	閉会集会	(昼食)	見学会 タニタ本社						

## 産業教育研究連盟（産教連）は

技術教育・家庭科教育に関わりある小・中・高・大学の教員や学生などで運営している民間教育研究団体です。

## 「授業をつくる」分科会

教材の魅力と授業の展開のおもしろさを探求する分科会です。教材準備、展開、生徒の受けとめかた、その対応など、ときには実技も交えながら討論していきます。メインレポートを中心としながら関連するレポートもあわせて討議します。

### ①育てて食べる生物育成の授業 4日(土) 9:30～12:30

新設「生物育成」どう実践していますか？水耕栽培、鉢・プランター栽培、畑・水田での栽培やさらに多様な形態もあるでしょう。生き物や天気が相手でもあり、長年取り組んできた教師でもうまくいかないこともあります。都心の中学校で屋上プランター栽培に長年取り組んできた中での失敗体験も交えながらの報告や、はじめて取り組んだというフレッシュな報告をもとに、生物育成の可能性を話し合っていきます。生きるためにものをつくる基本の営みとしての栽培・農業の技術。育てて食べるまでをつなげて考えていきたいです。

### ②加工(ものづくり)の授業 4日(土) 9:30～12:30

「A 材料と加工に関する技術」ではどんな指導をしていますか。材料では木材、金属、プラスチック類、糸・布などのうちどれですか。道具や機械および加工方法の指導ではどのようにしていますか。限られた時間の中で、何をどこまでどのように教えるかは永年の課題ですが、「これだけは身につけさせたい」という指導者としての視点や工夫があるはずです。技術教育・家庭科教育として、生徒の心と身体に残る学習をさせたいものです。この分科会では、数々の実践例をもとに、わかる・できる・たのしい授業をめざして参加者全員で討論していきます。プリント一枚の実践報告も歓迎です。



### ③電気・機械・情報の授業 5日(日) 9:30～12:30

学習指導要領では「エネルギー変換」とひとくくりにされている電気、機械などの工学的な分野は技術教育として大事な分野です。産教連では技術の原理をいかした教材・科学の仕組みの探求を重視してきました。生産技術について理解を広げるための基礎・基本とは何か、何をどこまでどのように指導するかを柱として検討します。

情報の学習では、これまで、ともするとコンピュータ操作スキル向上やマナー指導に傾きがちでしたが、必修となった計測・制御について何をどのように指導するか、生徒につけさせたい力は何かを検討します。



### ④調理実習へつなぐ食物の授業 5日(日) 9:30～12:30

食物の授業をどのように構成し展開していますか？週1時間のなかでは、何を軸にして、どれだけのことを教えるか、調理実習をどう行うかなどみなさん苦心しているところだと思います。ここでは、小麦粉の性質を見きわめながら調理実習へつなげていく実践を模擬授業的に報告します。実習を含んだ立体的な学びをどうつくるか、生徒の経験不足をどう補っているかなど、食物学習で困っていることや実習を成功させる工夫など討議していきます。

## 講演「種が危ない・自家採取のすすめ」 4日(土) 14:30～16:00

講師 野口 勲(種苗研究家)

農業の近代化に伴い、たくさん採れる種と農薬や化学肥料・大規模農業が推奨され、確かに生産量は増えました。しかし、在来種などが失われ、種子の支配が戦略的に行われており、遺伝子組み換え技術と種子、その特許による大企業の市場支配は世界中に大きな波紋を投げかけています。

大事な食料の問題を「種」から見つめ直そうという講演です。

野口 勲氏のプロフィール

1944年生まれ 野口種苗研究所経営。

1965年虫プロ出版社に入社し、手塚治虫担当漫画編集者となる。

その後、みかど育種農場で農作業と育種学を研修。

1974年出版編集稼業をやめ、家業を継ぐ。

著書『いのちの種を未来に』(創森社)、『タネが危ない』(日本経済新聞出版社)など

## 教材教具発表会 4日(土) 16:15～17:15

手づくりの教材や教具の発表会です。実習題材、演示教具、視聴覚教材など多様なものを持ち寄っての発表です。ぜひとっておきの教材教具をご持参ください。常時展示コーナーも有り。

## 実技コーナー「匠塾」 5日 13:30～16:45

授業にすぐに活かせる教材・教具を作ります。「授業をつくる分科会」の関連の実技的な内容も扱います。時間いっぱいかけてつくるものや2つ3つと取り組んで授業のネタや材料をいろいろ仕入れることもできます。

出店予定「木製テープカッター Newバージョン」「低融合金による鋳造」

「延長コード製作指導のいろいろ」「使い捨てカメラを使ったインバーター蛍光灯」

「手縫いですぐできるティッシュケース・ブックカバー」

「タオルでつくるミニぬいぐるみ」 などなど 持ち込み出店歓迎

## 夕食・交流会 5日 17:30～19:30

スローフードとロハスを楽しむ『ハーブ&美味しい野菜塾レストラン』に場所を移して、夕食をとりながらの交流会です。事前申し込みをお願いします。

## 教科教育・教育課程を考える討論会 6日(月) 9:30～11:45

昨年の東日本大震災と原発災害は、私たちの生き方や教育についての大きな問い直しを投げかけました。基調提案や分科会討議を活かし、これからの教科教育や教育課程づくりを全員で考える討論会です。少ない時間数、専任不在校の増加など厳しい条件もありますが、各地の状況や取り組みも出し合い、またここでのレポート発表も含めながら討論します。

## 見学会 タニタ本社 6日(月)

健康計測機器メーカーとしてまた、レシピ本『体脂肪計タニタの社員食堂』で有名な「タニタ本社」を見学します。体重計が機械式から電子式に変化した点や、野菜や果物を載せただけでカロリーが分かる秤、体脂肪計や睡眠状況の測定器など大変面白い機器が開発されているようです。また、社員食堂や健康についての取り組みについても紹介していただきます。

## レポート発表（提案）・匠塾出店・教材教具発表される方へのお願い

誰でも自由に発表し、討論に参加できます。実践報告、教材や教具の発表、テスト問題など多様な提案や資料提供をお願いします。資料は80部用意して下さい。できるだけ事前送付をお願いします。

レポートや教材教具など荷物の送付は、**8月3日午後2時～4時の配達時間帯指定で大東文化会館気付け「産教連大会実行委員会」宛て**をお願いします。（会館事務室では受け取りできないため、実行委員が直接受け取ります。）レポート発表等を希望されるかたは、下記実行委員会に希望分科会とテーマを7月31日までにお知らせ下さい。

問い合わせ先	大会実行委員会 亀山 俊平
	〒195-0061 東京都町田市鶴川4-2 8-5
	TEL 042-734-5052 kame@mbj.ocn.ne.jp

- その他
- 1、キャンセルまたは変更の場合は、必ず、事務局(大会会計)の野本までご連絡下さい。
  - 2、キャンセルの時、参加費の返金は、資料の発送をもって代えさせていただきます。
  - 3、申し込みをされた方の氏名・住所などの個人情報、産業教育研究連盟(産教連)の活動以外には一切使用いたしません。

<b>参加費</b>	全日程参加 4000円 (会員 3000円、学生 2000円)
	1日だけの参加 3000円 (会員 2000円)
	夕食交流会参加費3000円 (飲み物代は別)
	※夕食交流会は事前予約が必要ですので、交流会参加希望者は、 参加費+3000円となります。
	・今年 <sup>は</sup> 大学の会館を会場としており、 <u>宿泊は別となっています。宿泊が必要な方は各々手配をお願いします。(池袋周辺・東武東上線沿線が便利です)</u>
	・昼食については、会場周辺に飲食店、店舗があります。

**申込** 産教連 webページ <http://www.sankyoren.com> から申し込みの上、参加費等を下記口座にお振り込みください。  
または、下記の参加申込書を事務局へ郵送のうえ、お振り込み下さい。

**振込先** 三菱東京UFJ銀行 <sup>こうほく</sup> 港北ニュータウン支店 普通0605258 <sup>さんきょうれん</sup> 「産教連 全国研究大会」  
申込期日 7月31日まで (大会当日も受付けます)  
事務局 野本勇 〒224-0006 神奈川県横浜市都筑区荏田東4-37-21  
TEL 045-942-0930

### 第61次 技術教育・家庭科教育全国研究大会参加申込書

氏名 \_\_\_\_\_ 〒 \_\_\_\_\_ 住所 \_\_\_\_\_

連絡先の電話 ( ) \_\_\_\_\_ e-mail: \_\_\_\_\_

所属(勤務先) \_\_\_\_\_

◆ あてはまる項目に○印をつけてください。

参加日: 8/4(土) 8/5(日) 8/6(月) 参加費: 一般 会員 学生 ( 円)

性別: 男 女 交流会: 参加 不参加 ( 円)

振込金合計 ( 円)

参加予定の分科会: 「授業をつくる」分科会 ① ② ③ ④